

住吉区医師会感染対策カンファレンスの基本理念と活動

基本理念

1. 患者、職員、家族の安全を守るために、感染症の予防と管理に積極的に取り組む。
2. 科学的根拠に基づいた最新の感染対策を実践する。
3. 全ての会員が感染対策の重要性を理解し、協働して取り組む。

活動

1. 感染症サーベイランスの実施：地域と全国の感染状況を定期的に調査し、分析する。
2. 科学的根拠に基づく情報提供：最新の科学的知見に基づき、正確かつ明確な情報を提供する。
3. 研修の実施：会員に対して、定期的に感染対策に関するカンファレンスおよび訓練を実施する。
4. 感染拡大の抑制：迅速な感染拡大の抑制に向けた対策を立案し、実施することで、社会全体の安全を確保する。
5. 情報収集と分析：国内外の感染状況や対策の情報を収集し、適切な分析を行い、必要な情報を関係者に提供する。
6. 抗菌薬適正使用：抗菌薬の適正使用を促進する。
7. 新興感染症への対応：新興感染症の発生に備え、対応策を検討する。
8. 地域連携：OIPC等感染対策ネットワークに参加し、連携を強化する。地区の医療機関と緊密な連携を取りながら、感染症の診断、治療、対応に関する最適な方法を探求する。

補足

- 住吉区感染対策カンファレンスは、地区医師、看護師、薬剤師、事務職員など、各職種から構成される。
- カンファレンスの活動内容はホームページなどで公開する。